



2020－21 年度 R I テーマ

『ロータリーは機会の扉を開く』 (Rotary Opens Opportunities)



杉戸ロータリークラブ
第 50 代会長 折原 正昭

1971 年 3 月 30 日、私たち杉戸ロータリークラブは創立総会を開催し、同年 5 月 3 日 RI に加盟認証を受けました。創立以来 50 年間、幾多の苦難を乗り越えてこられたパスト会長を始めとする会員・関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。2020-2021 年度、杉戸ロータリークラブは創立 50 周年を迎えます。

本年度のホルガー・クナーク RI 会長は「ロータリーは機会の扉を開く」を RI テーマに掲げられ、ロータリーは無限の機会への招待であると述べられています。さらに奉仕プロジェクトを通じて会員自身や受益者の人生をより豊かにするための道を開くのがロータリーであると力説されました。

RI の方針を受け、2770 地区中里公造ガバナーは「新たな機会へのチャレンジで、クラブに活力を！」と地区運営方針を出されています。中里ガバナーより示されたクラブチャレンジ目標の達成を目指していきたいと思えます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの生活は大きく様変わりしました。ロータリークラブの活動も制限され、思うような奉仕活動ができない悔しさを感じます。しかしながら、出来ない理由を語り何もしないのではなく出来る方法を模索し、「自分たちが今できることをやる」ことを進めていきましょう。そうすることが機会の扉を開くことであり、私たちが取り組んだ新たなチャレンジはクラブに活力をもたらすことになると思えます。

一年間、宜しくお願いいたします。

具体的運営方針

1. クラブのビジョン・戦略計画の策定
クラブの満足度を高めるためにビジョン・戦略計画策を策定し、例会場に掲示する。
2. 継続事業の見直し
過去行ってきた継続事業について見直し、再考の上必要なものは開催をしていく。
 - ① 挨拶運動
 - ② ポリオ撲滅活動
 - ③ 古利根川流灯まつりでの募金
 - ④ 杉戸町音楽祭の検証（他団体への引継ぎについて要検討する）
3. 会員増強
 - ・今年度、純増7名を目指す（会員数50名を目標）
 - ・女性会員の増強。女性会員比率10%を目標
 - ・入会候補者（新規、退会者、次世代会員家族）を例会、イベント、親睦ゴルフに招待をする。
 - ・退会者を出ないようにする。
 - ・会員でつくる部活動を奨励する。
4. 出席率向上
 - ・必要に応じてオンライン例会等の実施、オンライン例会に向けた勉強会の実施。
 - ・会員は、月1回の例会参加を義務とする。（オンライン・メーキャップ含む）
 - ・月間に沿って地区役員の卓話、会員の卓話を実施する。
 - ・親睦・出席委員とプログラム・ロータリー情報委員会に企画を立案し、他クラブとの合同例会・懇親会、メーキャップ、キャラバン、家族参加イベント等の実施。
 - ・日帰り親睦旅行の立案。
5. 財団・米山100%達成
 - ・例年同様財団・米山100%達成を目標とする。ベネファクターを1名達成する。
 - ・ポリオプラス一人あたり50ドルを達成する。
6. 国際交流事業
 - ・台湾中壢北区RCとの友好関係向上に向けた取り組み。
7. 青少年奉仕
 - ・青少年交換プログラムのスポンサークラブに向けた取り組み。

- ・ RYLA 研修に参加者の募集。
- ・ インターアクトクラブ・ローターアクトクラブの検証。
- ・ 地区でのホストファミリーバンクへの協力をする。

8. 米山記念奨学事業

- ・ 前年度、中国より受け入れた米山奨学生 1 名へのサポート、教育。
- ・ 米山記念奨学委員会には、地区で受け入れている奨学生の義務奉仕事業に参加していただく。またカウンセラーは奨学生の例会への参加、奉仕活動の参加を指導する。

9. 新規事業

- ・ 地区補助金を使用し、杉戸町に新型コロナウイルス感染症対策支援を行う。
- ・ 海外におけるプロジェクトの検討。

10. 50 周年記念事業・式典

- ・ 50 周年実行委員会を中心に全会員にて実施する。

11. マイロータリーへの登録

- ・ 100%登録を継続。

12. ロータリー賞

- ・ ロータリー賞にチャレンジする。